

シグマ委員会核データ専門部会

融合炉核データW.G. サブグループ会合議事録

日 時：昭和51年11月24日(水) 13:30~17:30

場 所：東海研 研2棟304号室

出席者：更田，浅見(哲)，孤田，関，西村，中島，田中(原研)

配布資料：(1) 融合炉核データ・プロット作業のためのフローチャート

(2) プロット作業上の問題点，など

議 事：融合炉核データ・プロット作業の進め方について

- (1) 前回のサブグループ会合で決定した作業の進め方をフローチャートの形にまとめた。Preliminary plotに基づいて，適当なデータか？ missing data があるか？ plot の座標をどう指定するか？をJAERIメンバーが分担することになっていたが，作業の一貫性を考えて，これらの仕事に更に missing data の imput 作りを加えて，全メンバーで分担することにした。分担の(案)は次の通り。

Li	孤 田	V	田 中
Be	中 島	Cr	伊尾木
C	村 田	Fe, Ni	北 沢
O, F	西 村	Cu	菊池(士)
Al	中 島	Nb	神 田
Ca	伊 藤	Mo	関
Ti	小 林	Pb, Np	浅見(哲)，更 田

- (2) プロット作業上の問題点を出しあって，対策を考えた。

(i) 配布資料(2)参照のこと

(ii) reference のつけ方は plot outしたものに 1st author を書き加えるだけ。

- (iii) Missing dataは分担者がSPLINT format の形に書き出す。
formatは次回の会合で配布する。
- (iv) プロットの大きさ：A4版に入るように、押田提案には出版物にグラフ用紙を付けることによって答える。
- (v) Userとしてはカーブが入っているとよい(関)。
JENDLのカーブをプロットに入れることにする。
- (vi) 出版はJAERI-M レポートとする。
- (vii) 作業経過を報告し、サブグループの決定事項を説明し、作業分担を行うために、12月17日(案)にグループ会合を東海研で開催することにする。

以上